



REVITALIZE
株式会社リバイタライズ

環境経営レポート 2023年度

対象期間 2023年8月1日～2024年7月31日

発行日 2024年10月31日



エコアクション21[®]
認証番号0008949

代表メッセージ

－ 価値ある廃棄物に**生命**を与える －

弊社は平成 21 年 11 月創業と日は浅くまだまだ若い企業ですが基本理念をもとに精一杯の努力をしていく所存でございます。

これからも「初心・原点」「発想・信念」「感謝・反省」「共有化」を社訓とし躍進して参りますので今後とも宜しくご愛顧賜りますようお願い申し上げます。



株式会社リバイタライズ
代表取締役 大和 孝

環境経営方針

基本理念

株式会社リバイタライズは、「価値ある廃棄物に生命を与える」という企業理念のもとに廃棄＝不必要・処分という概念をなくし価値を見出す方法を考え提案していくよう努め、物を生かし再利用をはかる活動を行い環境保全の手助けとなる企業作りを推進します。

併せて自社における環境負荷削減等、継続的改善活動を行って参ります。

基本方針

1. 受託廃棄物の再資源化及び有効利用に取り組めます。
2. エネルギーの効率化、事業活動に伴う廃棄物・排水・CO2 の削減に努めます。
3. 環境改善の為に今出来る事を経営者及び社員一同日々考えます。
4. 環境の保護に努め将来により良い環境を残します。
5. 環境関連法規を厳守します。
6. この環境方針を全社員に周知すると共に、一般に公開します。

制定日：2011 年 2 月 5 日 / 改定日：2022 年 11 月 1 日

代表取締役 大和 孝

組織の概要と認証・登録の対象組織・活動

組織の概要

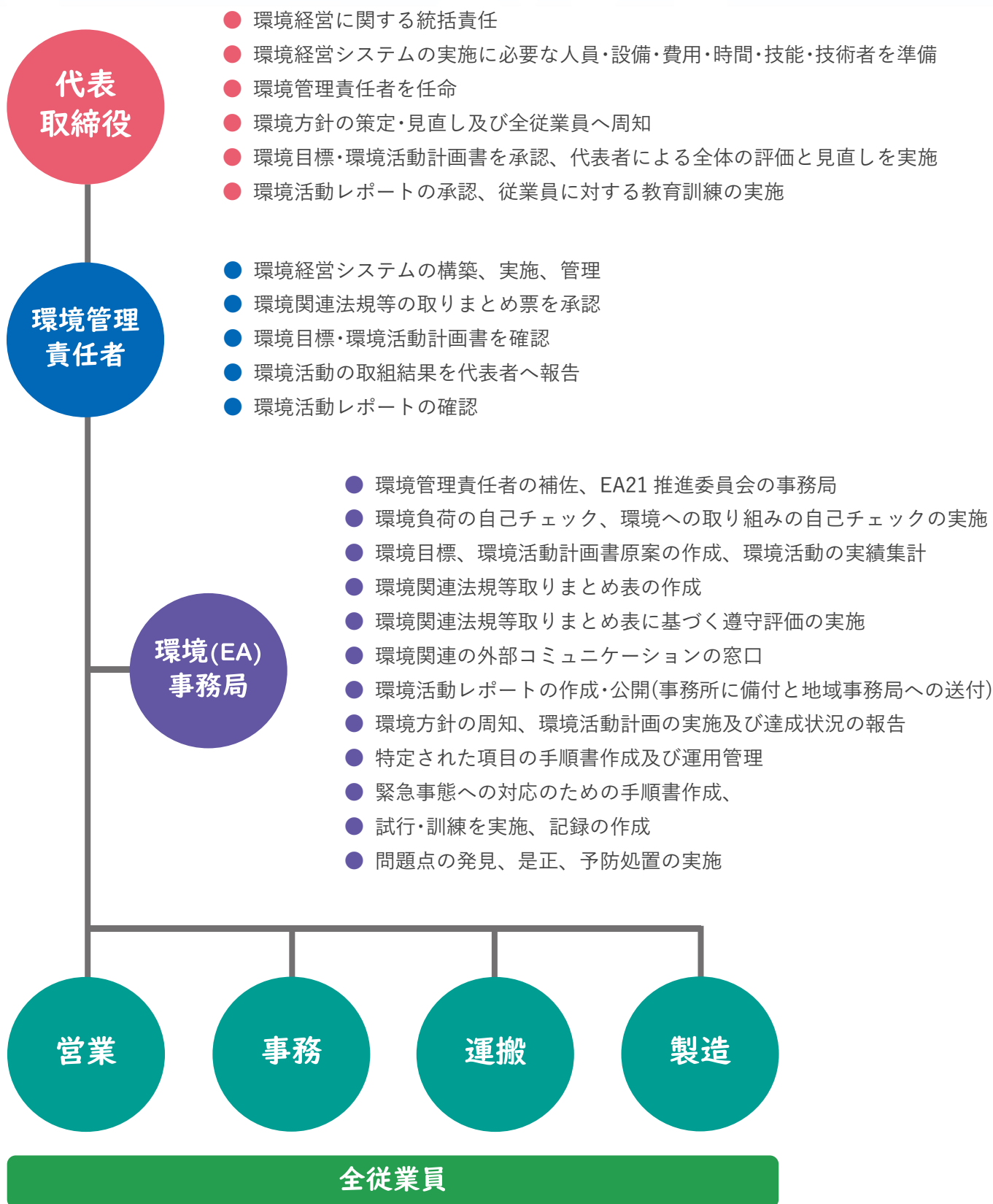
- 1. 名称**
株式会社リバイタライズ
代表者
代表取締役 大和 孝
- 2. 所在地**
〒571-0015 大阪府門真市三ツ島5丁目8番44号
- 3. 環境管理責任者**
大和 孝 代表取締役
担当者
北岡 智
連絡先
TEL 072-883-5810 FAX 072-883-0939
E-mail post@rev-rev.co.jp
URL <https://www.rev-rev.co.jp>
- 4. 事業内容**
産業廃棄物の収集運搬
使用済み溶剤の再資源化業務
各種溶剤の新液・再生品販売
洗浄機・溶剤タンク等の清掃作業
- 5. 事業規模**
法人設立年月日 2009年11月18日
資本金 300万円
総売上額 197,036万円(2023年度)
従業員 7名
延べ床面積 276㎡
保有する車両 乗用車4台, 4tトラック1台, 3tトラック1台,
フォークリフト1台
- 6. 事業年度**
8月～翌年7月

認証・登録の対象組織・活動

- **登録組織名** 株式会社リバイタライズ
- **対象外** なし
- **活動** 産業廃棄物の収集運搬
使用済み溶剤の再資源化業務
各種溶剤の新液・再生品販売
洗浄機・溶剤タンク等の清掃作業



組織図 (2024年現在)



- 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚
- 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

許可一覧

産業廃棄物収集運搬許可

府縣市名	許可年月日	廃棄物の種類	有効年月日	許可番号
大阪府	R2.02.16	廃油・汚泥・廃酸・廃アルカリ・ 廃プラスチック類・金属屑・ガラス屑	R7.02.16	第 02700152710 号
兵庫県	R2.03.23	廃油・汚泥・廃酸・廃アルカリ・ 廃プラスチック類・金属屑・ガラス屑	R7.03.22	第 02803152710 号
京都府	R2.03.29	廃油・汚泥・廃酸・廃アルカリ・ 廃プラスチック類・金属屑・ガラス屑	R7.03.28	第 02600152710 号
滋賀県	R2.02.02	廃油・汚泥・廃酸・廃アルカリ・ 廃プラスチック類・金属屑・ガラス屑・鉋さい	R7.02.01	第 02501152710 号
奈良県	R3.05.02	廃油・汚泥・廃酸・廃アルカリ・ 廃プラスチック類・金属屑・ガラス屑	R8.05.01	第 02900152710 号
福井県	R3.07.05	廃油・汚泥・廃酸・廃アルカリ・ 廃プラスチック類・金属屑・ガラス屑	R8.07.04	第 01807152710 号

特別管理産業廃棄物収集運搬許可

府縣市名	許可年月日	廃棄物の種類	有効年月日	許可番号
大阪府	R2.02.17	廃油・汚泥・廃酸・廃アルカリ	R7.02.16	第 02750152710 号
兵庫県	R2.03.23	廃油・汚泥・廃酸・廃アルカリ	R7.03.22	第 02853152710 号
京都府	R2.03.29	廃油・汚泥・廃酸・廃アルカリ	R7.03.08	第 02650152710 号
滋賀県	R2.02.02	廃油・汚泥・廃酸・廃アルカリ	R7.02.01	第 02551152710 号
奈良県	R3.05.02	廃油・汚泥・廃酸・廃アルカリ	R8.05.01	第 02950152710 号
福井県	R3.07.05	廃油・汚泥・廃酸・廃アルカリ	R8.07.04	第 01857152710 号



2022年度

産業廃棄物運搬処理実績
(期間：8月1日～7月31日)

385,600kg

2023年度

産業廃棄物運搬処理実績
(期間：8月1日～7月31日)

327,832kg

主な環境負荷の実績と環境目標・実績

主な環境負荷の実績

項目	単位	2021年	2022年	2023年
二酸化炭素総排出量	kg-CO2	33,715	31,371	28,317
廃棄物排出量計	kg	12,892	10,891	7,369
一般廃棄物量排出量	kg	192	226	179
産業廃棄物排出量	kg	12,700	10,665	7,190
総排水量	m ³	68	69	68
産業廃棄物運搬処理量	kg	126,768	113,696	117,741
特別管理産業廃棄物運搬処理量	kg	254,590	271,904	210,091

※二酸化炭素排出量には、都市ガス分が含まれています。

※電力の二酸化炭素排出量換算値：0.351kg-CO2/kWh (関西電力 2020年度 実排出係数)

環境経営目標及びその実績

項目	年度	基準値	2023年			2024年	2025年
		(基準度)	(目標)	(実績)	(評価)	(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素 排出量削減	kg-CO2	3,106	3,075	3,210	—	3,044	3,012
	基準年比	2022年	99%	103%	△	98%	97%
ガソリンの二酸化炭素 排出量削減	km/L	12.6	12.7	16.3	—	12.9	13.0
	基準年比	2022年	101%	129%	○	102%	103%
	Kg-CO2	7677	—	7104	—	—	—
軽油の二酸化炭素 排出量削減	km/L	5.0	5.1	6.3	—	5.1	5.2
	基準年比	2022年	101%	126%	○	102%	103%
	Kg-CO2	20,454	—	17,893	—	—	—
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO2	31,371	—	28,207	○	—	—
一般廃棄物の削減	kg	226	223	179	—	221	219
	基準年比	2022年	99%	79%	○	98%	97%
節水	m ³	69	68	68	—	68	67
	基準年比	2022年	99%	99%	○	98%	97%
リサイクル提案件数	件/年	17	18	18	○	19	20
社会貢献 会社周辺の清掃 (1回/月)	回/月	12回/年	12	12	○	12	12

※化学物質(フロン類)は受託した廃液に含有されているものを使用し、蒸留再生し商品化するものであり削減取組は実施しない。

環境経営計画の取組結果とその評価

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素 排出量の削減	取組計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
	不要照明の消灯	○	継続	業務量に応じて電力使用量は変動するが、目標達成手段を着実に励行し、無駄な電力消費を避けるようにする。また、新たな節電対策も講じる。
	冷暖房の温度調節	○	継続	
	待機電力の削減	○	継続	
環境目標	△	強化		

ガソリンの二酸化炭素削減	取組計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
	フォークリフトの効率活用	○	継続	エコドライブが身についてきている。常に急発進や急加速をしない運転を心がけ、燃費向上のために穏やかな運転をする。また、車両使用者に対して定期的に燃費を提示し低燃費意識を向上させる。
	こまめなシフトチェンジ	◎	継続	
	アイドリングストップ	◎	継続	
エアコンの温度設定	◎	継続		
環境目標	◎	継続		

軽油の二酸化炭素削減	取組計画	達成状況	次年度	評価（結果と次年度の取組内容）
	配送ルート of 効率活用	◎	継続	今後も燃費向上を心掛け、安定した運転動作を行いたい。安定して走行できるルートを走行前に把握し、安全運転とエコドライブを心がける。
	こまめなシフトチェンジ	◎	継続	
	アイドリングストップ	◎	継続	
エアコンの温度設定	◎	継続		
環境目標	◎	継続		

	取組計画	達成状況	次年度	評価(結果と次年度の取組内容)
一般廃棄物の削減	分別の徹底	◎	継続	サンプル用梱包材として再利用出来ない大きいダンボールはリサイクル業者へ引き取ってもらい、ダンボールの廃棄量が継続してゼロとなった。今年度もペットボトルはスーパーに提供する。凡事を徹底し、リデュース、リユース、リサイクルを考える。
	裏紙の使用の徹底	◎	継続	
	帳票見直しによる印刷物の削減	◎	継続	
	アルミ缶、スチール缶の分別	◎	継続	
	小さいダンボールは梱包材として再利用	◎	継続	
	大きいダンボールはリサイクル業者へ持込み	◎	新規	
	空ペットボトルをリサイクル回収	◎	継続	
	環境目標	◎	継続	

	取組計画	達成状況	次年度	評価(結果と次年度の取組内容)
節水	蒸留装置の雨水利用	○	継続	業務の性質上、蒸留が多いが、引き続き節水手順を順守して使用水量の削減に努めてゆき、節水に取り組んでいく。
	環境目標	○	継続	

	取組計画	達成状況	次年度	評価(結果と次年度の取組内容)
事務用品のグリーン購入	対象品目の調査	○	継続	グリーン購入品目にあるものは積極的に購入する。
	環境目標	—	品目調査	

	取組計画	達成状況	次年度	評価(結果と次年度の取組内容)
リサイクル提案件数	営業を通じて提案	○	継続	当社の知見をもとに提案活動を行っていく。
	環境目標	○	継続	

	取組計画	達成状況	次年度	評価(結果と次年度の取組内容)
社会貢献	会社周辺清掃活動	○	継続	継続して活動していく。
	環境目標	○	継続	

環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りです。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	遵守
廃棄物処理法	産業廃棄物収集運搬(廃油、廃プラ等)	○
家電リサイクル法	エアコン、テレビ、冷蔵庫	廃棄無し
資源有効利用促進法	パソコン	廃棄無し
自動車リサイクル法	営業用乗用車、トラック	廃棄無し
自動車 NOx・PM 法	トラック	○
下水道法	2013年5月 放流開始(使用開始届出)	○
フロン排出抑制法	スポットクーラー	○

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されています。
なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

代表者による全体の評価と見直し・指示

昨年に引き続き取組の成果が出ている。△については早めに対応していくようにする。
サステナビリティを意識した経営活動を今後も邁進していく。
CO2 排出抑制や、環境負荷低減に努めていく。当社の取り組みを着実に進めていく。

- 環境方針の見直し：なし
- 環境目標・計画の見直し：なし
- 実施体制その他の見直し：なし

代表者の見直し実施日：2024年9月30日

会社内の環境活動

窓廻りの断熱性向上によって、建物全体の空調負荷を抑制した。
前期の報告書を紙からメール等に切り替えに引き続き、社内での紙の使用量の削減を別の書類等にも増やし、ペーパーレス化をさらに図った。

サステナブル・ESG の取り組み

“価値ある廃棄物に生命を与える”環境配慮と廃棄物適正処理の推進

3F“Action”

Future Action

“価値ある廃棄物に生命を与える”をテーマにこれまで培ってきた知識と独自の技術を活かして、環境問題の中でも「地球温暖化防止」に貢献していきます。様々な廃棄物処理の問題を解決するために、廃棄物のリサイクルの提案を行い、企業のゼロエミッション達成の力添えをしていきます。

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



- フッ素系溶剤リサイクル事業の強化
- ゼロエミッション達成の提案
- 化学薬品の再資源化の推進

フッ素系溶剤
リサイクル事業
の強化と促進

2025年 (1年後)

提携業者を
増やし、廃棄物
3R活動を進展

2027年 (3年後)

廃棄物・
再資源化部門
の取扱件数
150%達成*

2029年(5年後)

フッ素系溶剤
リサイクル受託数
150%達成*

2031年(7年後)

※基準年度:2020年

具体的な取り組み内容

- 蒸留以外の方法を積極的に取り入れた再生技術の開発
- リサイクル製品の原料調達や品質管理の強化
- 提携業者を広げて対応エリアの拡大
- Webや展示会による地球温暖化防止のための情報発信

目指すビジョン

- リサイクル事業の拡大による地球温暖化防止に貢献
- 全国のフッ素系溶剤のリサイクル相談がリバイタライズに集まる
- 廃棄物ゼロエミッション達成の提案の全国展開
- 自社設備によるリサイクル受託数の増加による化学薬品の資源保護

サステナブル・ESG の取り組み

“喜びの循環” 社会へ向けた取り組み

3F“Action”

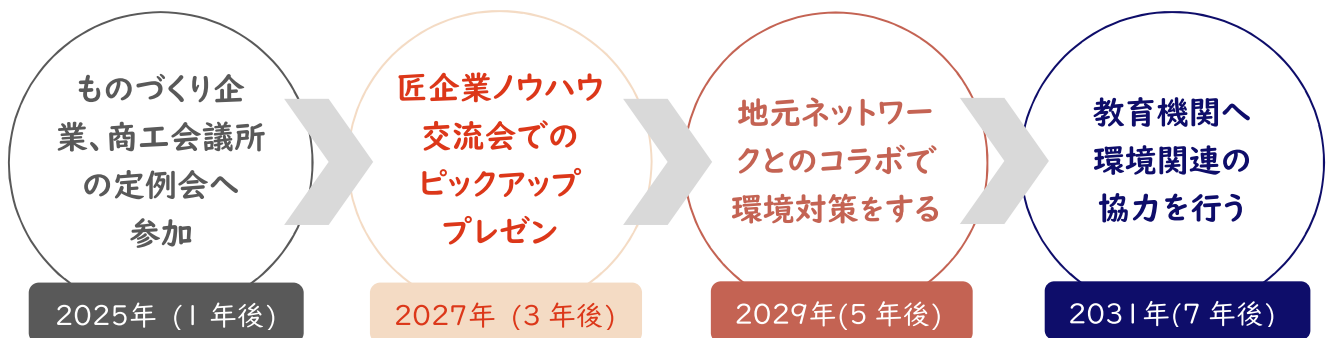


Friendship Action

“喜びの循環”が「リバイタライズ」の発展と最大の喜びです。
お取引いただく企業様を中心に繋がり、行政機関や教育機関とも連携することで“喜びの循環”の輪を今よりももっと大きく拡大し全国の環境保全のための活動を推進します。



- 環境問題なら何でも相談できる窓口になる
- 地元ネットワークと環境対策の実施
- 教育機関との環境活動の実施



具体的な取り組み内容

- お取引企業様へのヒヤリングの機会を増やす(DM・訪問等)
- 提携業者へ商談依頼を増やす
- ものづくり企業、商工会議所の定例会への参加を増やす
- 匠企業ノウハウ交流会へ参加する
- 教育機関との活動に向けた取り組みを行う

目指すビジョン

- “とりあえずリバイタライズさんに聞いてみたら？”とお取引企業様から何でも相談いただく会社
- 提携企業と全国の廃棄物処理の問題解決ができる
- ものづくり企業、商工会議所、教育機関との連携がとれている
- 匠企業ノウハウ交流会のプレゼンからの問合せをもらう

サステナブル・ESG の取り組み

“働きやすく働きがいのある”社内体制の強化

3F“Action”

Flexible Action

独自の再生技術やノウハウを残し、働く皆がそれぞれのチカラを発揮できる環境づくりのために技術・業務マニュアルの改善と効率化を行い、従業員同士で助け合える環境を整えていきます。更に、業務に関する知識を高める勉強の場を設けて働きやすく働き甲斐のある企業を目指します。

3 すべての人に健康と福祉を



5 ジェンダー平等を実現しよう



8 働きがいも経済成長も



12 つくる責任 つかう責任



- ☑ 技術・業務マニュアルの改正
- ☑ 協働的な組織づくり
- ☑ 教育強化による基礎知識の向上

定期グループ
ワーク会の実施

2025年 (1年後)

再生技術・
業務内容の
マニュアル改善

2027年 (3年後)

製品安全対策
優良企業の
受賞に向けて
活動を開始

2029年(5年後)

製品安全対策
優良企業を
受賞

2031年(7年後)

具体的な取り組み内容

- 毎月の改善ミーティングの実施
- 業務、技術マニュアルの作成と改善
- 業務内容や再生技術の社内勉強会の開催
- グループワーク会の実施

目指すビジョン

- 会社の改善、ブラッシュアップについて従業員で話し合える
- 業務内容を共有できお互いに協力できる体制
- 一人一人が自分の仕事に責任を持ち、働き甲斐を感じている
- 製品安全対策優良企業（経済産業省）の受賞

「価値ある廃棄物に生命を与える」を元に
「初心・原点、発想・信念、感謝・反省、共有化」を常に意識して
「お客様・仕入先様・リバイタライズの喜びの繋がり」を実現することを
従業員ひとりひとりが理解し目標にかかげて、

「豊かな人生」をめざし、
環境配慮と廃棄物適正処理を推進する営業活動と
働きやすく働き甲斐のある社内体制強化の両立を
進めていきたいと考えています。

3F “Action”

Future, Friendship, Flexible

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



REVITALIZE

株式会社リバイタライズ

〒571-0015 大阪府門真市三ツ島5丁目8番44号

TEL 072-883-5810 FAX 072-883-0939

E-mail post@rev-rev.co.jp

URL <https://www.rev-rev.co.jp>